



みんなでつくる 子どもの未来 まちの将来

生野区西部地域

学校再編の取組状況

～「生野区西部地域学校再編整備計画」が大阪市の学校適正配置のモデルに～

平成 29 年度からはじまる次の「大阪市教育振興基本計画（案）」で、学校適正配置のモデルとなりました。大阪市の中で生野区の西部地域の学校再編がとても重要な取組となっています。

生野区では、地域や保護者のみなさんとともに「学校力」を高めるなど、**教育力をまちの魅力**として、**地域の活性化に向け取組**をすすめていきます。

・・・「生野区西部地域学校再編整備計画」について・・・

児童数が少ない小さな規模の学校の課題の解消と、小学生から中学生まで切れ目なく育ていく小中一貫した教育をすすめるなど学校再編により、子どもたちのためのより良い教育環境づくり、子育て支援の充実やまちづくりの視点からの学校跡地の利用などについてとりまとめた「生野区西部地域教育特区構想」（平成 27 年 7 月）を実現するための取組について、平成 28 年に区と教育委員会事務局と一緒に考えてとりまとめました。

これまでの取組

平成 28 年 3 月に計画を公表し説明会を開いてから、対象の小学校区ごとに PTA 会長や地域まちづくり協議会理事長のみなさん（以下、「地域等」と表記します。）を窓口として、基本合意のすすめ方などについて意見交換を行ってきました。さらに、ご希望によって住民説明の場を作っていただきました。また、区政会議や子育て部会で意見交換が行われています。

意見交換等：12 小学校区、35 回 説明会等：7 小学校区、約 230 名参加（H29.1.20 時点）

新たな学校づくりは、保護者や地域住民のみなさんと一緒になって考えていくものです。「学校づくり」にぜひ関心を持っていただき、説明会などにご参加ください。

これまでによせられている主なご意見

子どものためには、早く新たな学校を開校してほしい。

通学距離が多少遠くなくても、教育内容が充実することの方が大切。

新たな学校区で新たなコミュニティを作っていけば良いのではないかと心配。

新たな学校の場所など配置案がすでに決まったものと誤解されている。

通学路の安全対策や校区が広がって子どもの行動範囲が広がるのが不安。

学校の教育がどのように良くなるのか、くわしい内容をもっと教えてほしい。

学校がなくなると、地域の元気がなくなってしまうのではないかと心配。

中面下(取組の進め方)
③で公表します

中面下(取組の進め方)
④で詳しく検討します

中面下(取組の進め方)
⑤で詳しく検討します